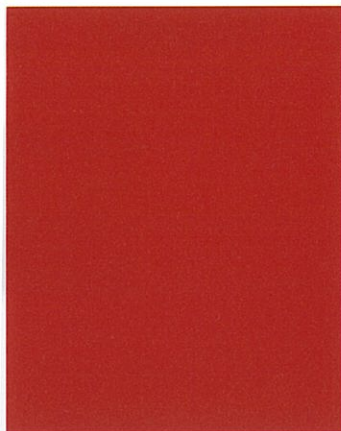


PHILIPPE GARREL BRIGITTE SY

LOUIS GARREL ANÉMONE MAURICE GARREL



Un Film de Philippe Garrel

Les Baisers De Secours

救いの接吻

DIALOGUE: MARC CHOLODENKO / MUSIQUE: BARNEY WILEN

ET AVEC MAURICE GARREL / YVETTE ETIEVANT / AURÉLIEN RECOING / VALÉRIE DRÉVILLE / PIERRE ROMANS /

JACQUES KEBADIAN / CHARLOTTE CLAMENS / LOUIS GARREL ET PHILIPPE GARREL

SCÉNARIO: PHILIPPE GARREL / DIALOGUE: MARC CHOLODENKO / MUSIQUE: BARNEY WILEN / IMAGE: JACQUES LOISELEUX / SON: CLAUDINE NOUGARET / MONTAGE: SOPHIE COUSSEIN

UNE PRODUCTION LES FILMS DE L'ATALANTE, LA SEPT, PLANÈTE ET COMPAGNIE, AVEC LA PARTICIPATION DU CENTRE NATIONAL DE LA CINÉMATOGRAPHIE ET DU ET DU THÉÂTRE GABRIELLE DORZIAT À ÉPERNAY

DISTRIBUTION LES FILMS DE L'ATALANTE, AVEC LE GROUPEMENT NATIONAL DES SALLES DE RECHERCHE DE L'AFCAE

SÉLECTION OFFICIELLE FESTIVAL DE VENISE 1989

SECTION ORIZZONTI

## 夫と妻、父と子、 映画とともに生きることしかできない者たち



フィリップ・ガレルによる至高の家族映画、  
日本初公開！

愛の終わりとその持続について苦悩し語り合う男と女。映画監督と女優であり、夫と妻であり、また息子の父と母でもあるふたりの対話は永遠に続いていく。フランスの名匠フィリップ・ガレルが傑作『ギターはもう聞こえない』(91)の前に製作した、あるひとつの愛の物語。つねに私小説的な映画をつくりだしてきたガレルならではの、私生活と創作をめぐる果てなき問いがくりひろげられる。出演は、フィリップ・ガレル本人と当時のパートナーであるブリジット・シィ、今やフランスを代表する俳優となった息子ルイ・ガレル、名優の父モーリス・ガレル。崩壊の危機にある家族の物語を、監督を含め実際の家族たちが演じた、至高の家族映画。

愛とは何か、どう愛を持続すべきか、  
愛と物語の関係は……  
愛と創作をめぐる果てなき対話が、  
新たな物語をつくり出す

新作の準備を進めていた映画監督のマチューは、主役を別の女優に決めたことで、妻で女優のジャンヌから激しい糾弾を受ける。自分をモデルにした役を別の女優が演じることを自分への裏切りと受け止め、夫に別れを突き付けるジャンヌ。突然の別離に苦悩しながら、妻と息子とどう向き合うべきかを逡巡するマチュー。果たしてふたりの愛は途絶えてしまったのか？モノクロームで質朴な映像とともにくりひろげられる、愛をめぐる美しく崇高な対話。本作を機にガレルと数々の名作をつくり出すことになる詩人で小説家のマルク・ショロデンコによるダイアローグは、愛の可能性と、物語の誕生の瞬間を描き出す。



### 救いの接吻

フランス | 1989年 | 83分 | モノクロ | 原題: Les Baisers de Secours

監督・脚本: フィリップ・ガレル | 台詞: マルク・ショロデンコ | 撮影: ジャック・ロワズルー | 編集: ソフィー・クサン | 音楽: バルネ・ウィラン

出演: ブリジット・シィ、フィリップ・ガレル、ルイ・ガレル、アネモーネ、モーリス・ガレル、イヴェット・エチエヴァン

# 4.27 [土] — 5.17 [金]

5月7日(火)、5月13日(月)は休映となります。  
※上映スケジュールは劇場HPでご確認ください。



特製A5クリアファイルつき  
特別鑑賞2回券¥2,400(税込)発売中!



恵比寿ガーデンプレイス内  
東京都写真美術館ホール  
TEL 03-3280-0099(代表)

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 JR恵比寿駅東口より徒歩約7分 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分  
(当日料金: 一般¥1,800/大・高生¥1,500 シニア・中学生以下・障がい者手帳お持ちの方¥1,100) ※チケット1枚につき、上映期間中1回のみご購入いただけます。